

「地域における公益的な取組」

1 施設名

沼木敬寿園

2 取組の名称

サロン活動、居場所作りの取り組み

3 取組内容について

① 実施に至る経緯：

地域密着型施設として、これまでも地域との関わりを大切に施設運営を行ってきた。サロン活動の取り組みは平成28年度より実施しているが、コロナ渦を経て、感染対策を講じながら月1回の開催形式で実施している。

② 具体的な内容：

地域包括支援センター主催の認知症カフェ、オンライン認知症カフェに職員が(年計4回)参加し、日頃の取り組みや事業所の紹介、レクリエーション活動などの実施を通して、地域住民と方との交流を図っている。南沼原地区のおらっちょプロジェクト参加や地域福祉会議・連絡会等への参加を通して、地域課題や情報交換を行っている。

③ 参加対象者及び参加費用：

参加対象者は地域住民の方々である。職員が案内文を起案し回覧板等で地域や関係機関へ配布する等で参加者を募っている。サロンの内容によっては利用者へも案内し、職員も率先して参加している。サロンへの参加費用は発生していない。

④ 予算や人員体制など：

職員の研修年度計画に沿って、資質向上や地域住民との交流機会をもてるよう、出来るだけ多くの職員がサロン活動に関わることができるよう工夫しながら取り組んでいる。

⑤ 取組による変化や効果

認知症カフェやサロンへの参加などの定期的な地域の方との交流の機会を通して、関係各所の方々との交流や情報交換、啓発活動の場にもなっている。

⑥ 今後の展望：

地域の方々との交流はもちろん、施設の取り組みやサービスについて知って頂ける機会として、今後も認知症カフェに積極的に参加していく。地域高齢者が施設に来園する形でのサロンの再開には至っていないが、町内会主催のサロンへの職員の派遣なども継続していきたい。地域密着型施設としての役割を認識し、地域高齢者の交流拠点や相談窓口としての役割を担えるよう取り組んでいく。

4 取り組みの様子

